

HOT NEWS

雲仙復興事務所

平成23年8月17日

JICA研修生、総合土砂災害対策を学ぶ ～ハードとソフトの砂防事業～

発信元

雲仙復興事務所
調査・品質確保課 大鷹 祥子

8月9日(火)、(財)砂防・地すべり技術センター(STC)の国際協力事業の一環として、JICA研修生計12名(9カ国:アジア、アフリカ、中米、南米)が当事務所に来所されました。「火山学・総合土砂災害対策」を研修テーマとし、概要説明は基より、千本木砂防施設群、大野木場監視所(愛称、「大野木場みらい館」、無人化施工現場を訪れました。

○千本木砂防ダム群:コンクリートから緑を実現した、いわゆる「緑の砂防ダム」を実感してもらった。

○大野木場監視所:被災した小学校をベースに火砕流等による災害の実情、又現在でも巨大な不安定土塊が存在する火山の山体監視、避難警報システムの説明。

○無人化施工現場:世界的にも最先端の無人化による施工を体験してもらった。

○ソフトな対策:当事務所ならではの砂防事業を支援、推進する災害学習、環境学習の体験、さらには現場での小さな工夫による地域コミュニケーション・地域貢献等の工事イメージアップを説明。

まさに、ハードとソフトな砂防事業を**総合的に説明し興味を持って頂きました**。自国での取り組みの参考にしたいと大変好評でした。

会議室にて研修概要を熱心に聴講



緑の砂防ダムを覗き込む研修生



無人化施工を熱心に見学



旧大野木場小学校の様子を見学し、災害の恐ろしさを再確認する研修生



インドネシア風紙芝居
さあ～見てらっしゃい!

